

令和8年度 数学3学年 年間指導計画と観点別評価規準

- 学年目標
- (1) 数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 - (2) 数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
 - (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。

学期	月	単元(指導時間)	内容のまとめ	観 点 別 評 価 規 準			主な評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
一学期	4~7	式の計算 (21 時間) 平方根 (19 時間) 2 次方程式 (18時間)	数と式	数の平方根の必要性と意味，二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解し，単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算，簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解，因数分解したり平方の形に変形したり解の公式を用いたりして二次方程式を解くことができる。	既に学習した計算の方法と関連付けて，式の展開や因数分解をする方法，数の平方根を含む式の計算の方法，二次方程式を解く方法を考察し表現することができ，それらを具体的な場面で活用することができる。	式の展開や因数分解をする方法，数の平方根，二次方程式のよさに気付いて粘り強く考え，それらについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，それらを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	ノート記述，定期考査，小テスト，振り返りシート等
	7~10						
二学期	10~1	関数 $y=ax^2$ (18 時間)	関数	事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを踏まえて，関数 $y=ax^2$ について理解するとともに，いろいろな事象の中に，関数関係があることを理解している。	関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について，変化や対応の特徴を見だし，表，式，グラフを相互に関連付けて考察し表現することができ，それを用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	関数 $y=ax^2$ のよさを実感して粘り強く考え，関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	ノート記述，定期考査，振り返りシート等
	1~3	相似 (26 時間) 円 (12 時間) 三平方の定理 (17時間)	図形	平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件，基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係，円周角と中心角の関係の意味，三平方の定理の意味を理解し，それらが証明できることを知っている。	平行線と線分の比についての性質，円周角と中心角の関係，三平方の定理を見だし，三角形の相似条件などを基にしてそれらを論理的に確かめることができ，それらを具体的な場面で活用することができる。	相似な図形の性質，円周角と中心角の関係，三平方の定理のよさに気付いて粘り強く考え，それらについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，それらを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	ノート記述，定期考査，振り返りシート等
三学期		標本調査 (9 時間)	データの活用	標本調査の必要性と意味を理解し，コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し，整理することができる。	標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができ，簡単な場合について標本調査を行い，母集団の傾向を推定し判断することができる。	標本調査のよさを実感して粘り強く考え，標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたり，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとしていたりしている。	ノート記述，定期考査，振り返りシート等
	年間授業時数		140時間				